



今年度の「目指す子供像と行動目標」

教頭

本校では、本年度の重点目標を『自ら考え 判断し 行動する』子供の育成』としています。今年1年が楽しい年になるように、何をすればよいか自分たちで考え、それをすることで他の人が喜ぶのか困るのか正しく判断し、よいと思ったことであれば勇気をもって行動する姿、自分のことは自分でできるようになり、自分でできることをどんどん増やしていこうとする姿等を目指して教育活動に取り組んでいきます。具体的に目指す子供像と行動目標は下記のとおりです。

令和4年度 目指す子供像と行動目標

- (知) **考える子** ・人の話をしっかり聞く。・進んで自分の思いや意図を表現する。
 ・関わり合いを通して学びを深める。
話し手を見て話を聞くことができる。 (達成度 80%)
- (徳) **人の役に立つ子** ・自分から進んで挨拶をする。・仲間や他の学年と助け合う。
 ・ふるさとや学校を大切にす。
相手の目を見て挨拶ができる。 (達成度 80%)
- (体) **元気な子** ・運動することを楽しむ。・進んで体を鍛える。
 ・心身の健康意識を高め実践する。
廊下や階段の右側を歩行する。 (達成度 80%)

(知) 話し手を見て話を聞くことができる。

教室に「聞き方名人」の条件を掲示するとともに、子供たちが継続して意識するよう、声をかけたり、振り返りの場を設けたりします。子供たちの模範となるよう、教員も子供の話をも真摯に聞きます。子供たちに話す際は、話の内容を明確にし、全ての子供の視線を捉えるように心がけます。子供たちが「聞きたい」「話したい」と思えるような活動を工夫します。

(徳) 相手の目を見て挨拶ができる。

登下校時、朝の会、授業開始の挨拶の際、友達、地域の人や教員等、挨拶をする人の目を見て挨拶ができるように声をかけたり、振り返りの場を設けたりします。子供たちの模範となるように、教員が積極的に子供たちに挨拶します。あいさつ運動等、高学年児童の思いを反映しながら児童会活動を工夫します。

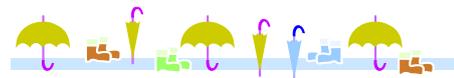
(体) 廊下や階段の右側を歩行する。

教員が落ち着いて行動します。廊下に「歩きましょう」と書いた札を置きます。児童会で定期的に「廊下階段歩行週間」を設け、子供たちが自己評価できるようにします。

学校では、教師と子供や子供同士の関わり合いを大切にすることで、互いを尊重し合い、共に学びを深める集団を育てていきます。保護者の皆様には、学習参観や学校行事等で来校された時のお子さんの姿を基に評価をしていただきたいと考えています。その結果や保護者の方の思いを受け、その後の改善に役立てます。保護者や地域の皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願いたします。



6月の主な行事予定



1日(水)尿検査(予備日 2日)

14日(火)学習参観(5限 13:35~14:20)

5日(日)3年学年活動(自転車教室)

21日(火)研修会のため下校 13:10

今後の状況により、行事の実施は随時変更いたします。ご理解とご協力をお願いします。
 ホームページに行事予定・日程変更がアップされています。ご確認ください。

学校給食の役割

栄養教諭

3時間目になると、給食室から給食のいいにおいが漂ってきます。「今日の給食は何かな。」子供たちの想像力がかき立てられます。

学校給食は成長期にある子供たちの健康の保持増進を図るという大きな役割がありますが、その他にも様々な役割を担っています。

給食では地場産物を積極的に使用しています。福野地域でとれた食材はもちろん、子供たちにあまりなじみのない赤かぶや白爵かぼちゃ、岩魚、五箇山豆腐等、南砺市内の産物も取り入れています。それらを使った献立を通して、子供たちはふるさとが誇る食材について知ることができます。

また、郷土食や行事食が登場します。郷土食では報恩講料理である「いとこ煮」、行事食では卒業式等のおめでたい日の「赤飯」や十五夜の「月見献立」等が登場します。これらの給食を通して、食文化や伝統に対する理解を深めることができます。

他にも、「給食を食べる」という実体験を通して、栄養バランスのとれた食事内容や食事マナー等について学んだり、教科等の学習内容と給食を関連付けることで学習効果を高めたりすることができます。

子供たちの食に対する興味・関心を高め、生涯にわたって健康な食生活を送ることができる力が身に付くように、給食を通して支援していきます。



教育活動あれこれ



令和4年度 運動会 5/15 (日)

テーマ「心を燃やして たちむかえ ～気持ちを一つに 元気を届けよう」



「1年 チェッコリ玉入れ」



「2年 玉入れ」



「3年 わんぱくハリケーン」



「4年 100m走」



「5年 綱引き」



「6年 心を燃やして奪い取れ！」